

資料4

外部評価記入票

事業目標 1 : 2024 年度

記入者名 :

【事業目標 1】琵琶湖の魅力を深く掘り下げ、世界に紹介

実施目標 : 琵琶湖やその周りの暮らしの価値を地域の人々や国内外の研究者とともに発見し、その魅力を国内外に広く発信します。

評価指標 : 地域の人々や研究者など多くの人による琵琶湖や湖と人間の研究が発信される

○評価記入欄（方向性、進め方などについて、事業目標に対する評価とご助言をご記入ください。評価する視点・立場について、必要に応じて例えば、「学校教員の立場からは」などのように明記ください。）

外部評価記入票

事業目標 2 : 2024 年度

記入者名 :

【事業目標 2】資料を未来に遺し、どこからでも使えるように整備

実施目標：貴重な標本・資料を将来にわたって人々が利用できるよう、適切な整理・保管を進めるとともに、ICT を活用した利用方法の開発により、琵琶湖博物館の知的資源を「だれでも・どこでも・いつでも」使えるように整備します。

評価指標：整った環境で保管されている湖と人間の資料・情報がどこからでも使っている

○評価記入欄（方向性、進め方などについて、事業目標に対する評価とご助言をご記入ください。評価する視点・立場について、必要に応じて例えば、「学校教員の立場からは」などのように明記ください。）

外部評価記入票

事業目標 3 : 2024 年度

記入者名 :

【事業目標 3】みんなで学びあう博物館へ

実施目標：交流事業を知識や経験を交換し合う「学びあいの場」と位置づけ、さまざまな人々や組織と連携して充実を図るとともに、参加する人の相互の出会いが新たな活動につながる環境を創ります。

評価指標：利用者が実施者になった多様な交流事業が実施される学びあいの場で情報交換が行われる

○評価記入欄（方向性、進め方などについて、事業目標に対する評価とご助言をご記入ください。評価する視点・立場について、必要に応じて例えば、「学校教員の立場からは」などのように明記ください。）

外部評価記入票

事業目標 4 : 2024 年度

記入者名 :

【事業目標 4】もっと使いやすい博物館へ

実施目標：琵琶湖を知る「入口」としての展示を、より使いやすく、常に成長する展示として発展させます

評価指標：湖と人間の最新情報が常に得られ現場への興味をもつ人々が増える

○評価記入欄（方向性、進め方などについて、事業目標に対する評価とご助言をご記入ください。評価する視点・立場について、必要に応じて例えば、「学校教員の立場からは」などのように明記ください。）

外部評価記入票

事業目標 5 : 2024 年度

記入者名 :

【事業 5 の目標】より多くの人が利用する博物館へ

実施目標 : ICT を活用し「世界」を見据えた広報を展開して、より多くの人の利用を実現します。また、双方向の広報によって常に博物館の社会的評価を情報収集し、博物館の魅力向上に役立てます

評価指標 : 館内および館外からも利用がしやすくなり利用者が増える

○評価記入欄（方向性、進め方などについて、事業目標に対する評価とご助言をご記入ください。評価する視点・立場について、必要に応じて例えば、「学校教員の立場からは」などのように明記ください。）

外部評価記入票

事業目標 6 : 2024 年度

記入者名 :

【事業 6 の目標】博物館の活動を安定して継続する

実施目標：老朽化した施設の改修や、災害に強い体制の確立を進めるとともに、活動基盤の安定のために、さまざまな支援を受ける仕組みづくりを進めます

評価指標：安心感がある場所で安定的に継続した活動ができる

○評価記入欄（方向性、進め方などについて、事業目標に対する評価とご助言をご記入ください。評価する視点・立場について、必要に応じて例えば、「学校教員の立場からは」などのように明記ください。）